

# ≡二災害支援講座

日本は世界でも災害が多い国で知られていますが、世界各地でも様々な災害が起こっています。

今回は日本ではあまり馴染みのない災害について紹介してみたいと思います。

## スーパーセル

スーパーセルとは、メソサイクロンと呼ばれる回転する上昇気流域を持つ非常に激しい嵐のことです。要約すると超巨大積乱雲です。ひとたび発生すれば“雹・竜巻・突風・強風・大量の落雷・豪雨・洪水”など、雨系の被害を一度にもたらす最悪の自然災害です。

アメリカ合衆国中西部で発生しやすいと言われていますが、条件さえ整えば世界のどこでも発生する可能性があります。2017年には愛知県で発生し、7000回以上発生した落雷によって火災などの被害が発生しています。



## 干ばつ



干ばつとは、雨が降らないなどの原因によって引き起こされる長期的な水不足のことです。農作物や人間が生きていくための水が不足するのはもちろんのこと、極度の乾燥状態に陥るため、山火事などに発展することもあります。近年の異常気象によって干ばつが起きる地域は変異しており、ここ数年だけでもアフリカや中東、中国、オーストラリアなど世界各地で多くの被害が報告されています。

## 蝗害（こうがい）

蝗害（こうがい）とは、バッタ類の大量発生によって起こる災害の一種です。増殖したバッタは草木を食い荒らし、さらなる食料を求めて移動しながら農作物まで食べつくしてしまい、飢饉や貧困問題に発展する場合があります。2020年には、東アフリカで異常発生したサバクトビバッタによって、数万ヘクタールの耕地・牧草地が壊滅したと言います。被害はアフリカだけに収まらず、その後中東やアジア20カ国以上にまで広がりました。日本でも1880年に北海道で発生しました。



## 隕石の落下

災害は地球外からやってくることもあり隕石の落下もそのひとつです。クルマ程度の隕石であれば落下中の大気との摩擦で燃え尽きると言われていますが、10mを超えるような隕石となると広い範囲に甚大な被害を及ぼします。2013年にロシアに落下したチェリャビンスク隕石は上空約20kmの高さで空中爆発し、建物の破壊や人的被害が生じました。



インターネットサイト ジャングルタイムズより引用

地球上どこにいても、いつ何が起こるか分かりません。  
少しでも被害を減らせる方法を普段から考えられるとよいですね。

